

2009年 11月期 決算説明会

2010年 1月27日

NACHI 株式会社 不二越

目 次

第1部 経営のとり組み

1. 2009年度決算と
2010年度計画について 2～ 4
2. 経営のとり組み 5～15

第2部 決算および計画の概要 16～32

2009年～2010年の環境認識

① 2009年度をふり返って

- ・ 自動車や産業機械など広範な産業分野で需要が縮小
- ・ 円高ドル安の進行
- ・ 需要減、競争激化による販売価格の低下など

② 2010年の環境認識

- ・ 新興国を中心に、需要回復傾向が鮮明に
 - ・ 自動車分野は、エコカーや小型エントリー車、二輪などの増産・生産能力拡充の動きが活発化
- ・ 工作機械など産業機械分野の需要が底打ち
- ・ エネルギー・インフラ系、環境関連は引き続き伸長

2

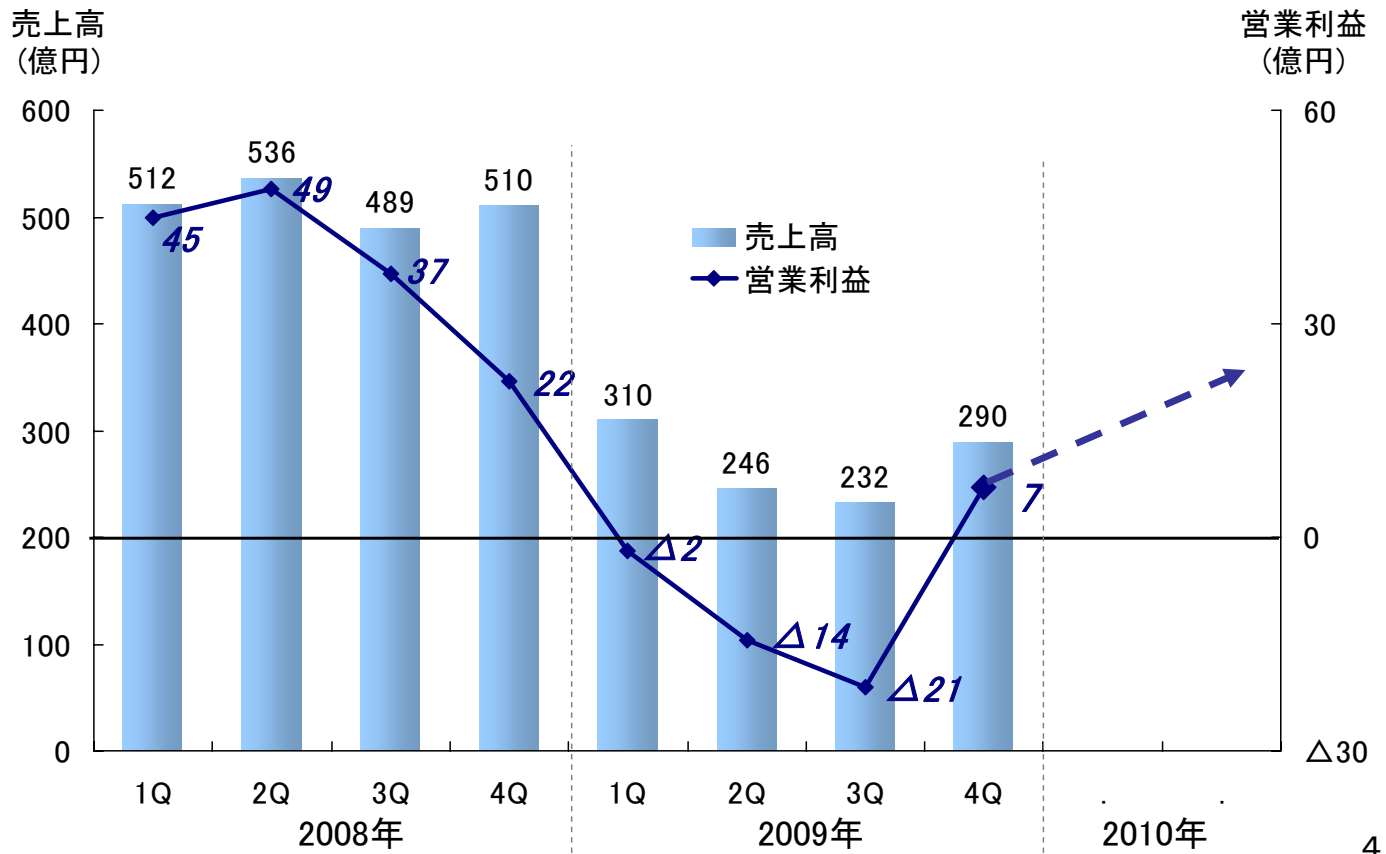
2009年度実績と2010年度計画

(単位:億円)

	2009年度 実 績	2010年度 計 画
売上高	1,075	1,300
営業利益	(△3.0%) △32	(4.2%) 55
経常利益	(△4.7%) △50	(2.7%) 35
当期純利益	△74	25
1株配当金	1.5円	未定

3

四半期ごとの業績の推移



経営のとり組み

2010年度の経営スタンス

○ 業績改善に向けて、

受注・売上の確保と、徹底したコスト対策を実現

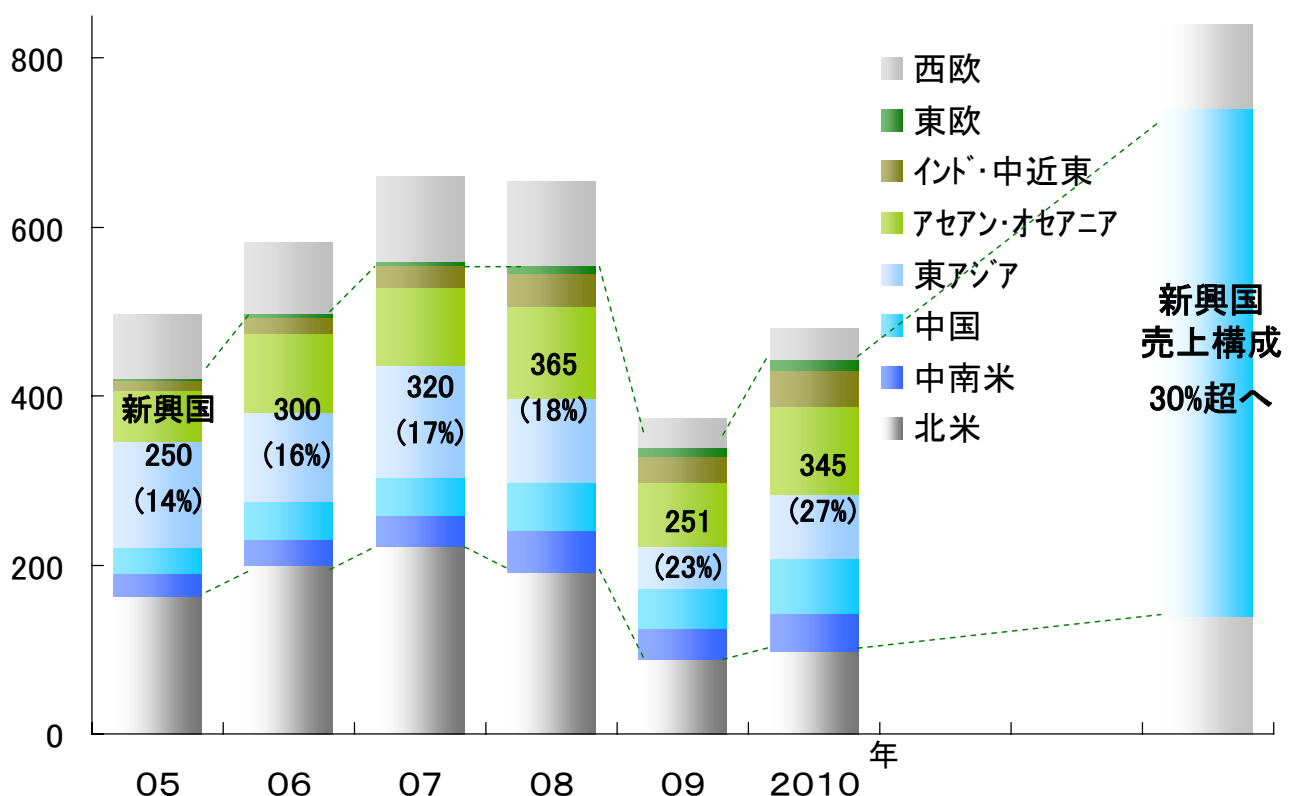
- ① 新興国市場を深耕
- ② エネルギー・インフラ、環境関連ビジネスを拡大
- ③ エンジニアリングビジネスを切り口に
- ④ 30%コスト改革

6

① 新興国市場を深耕

売上(億円)

○海外売上高(地域別)



7

① 新興国市場を深耕

(1) 現地生産体制を拡充

- ・タイ、ブラジル、中国(広州)の生産体制を増強
- ・工具再研削拠点を拡充



ブラジル第2工場 拡張

(2) 販売・プレゼンテーション体制を強化

- ・タイ、ドバイのプレゼンテーション施設を充実
- ・見本市・プライベートショーへ積極的に出展



タイ第3工場 新設



アセアンビジネスセンター・見本市(タイ)

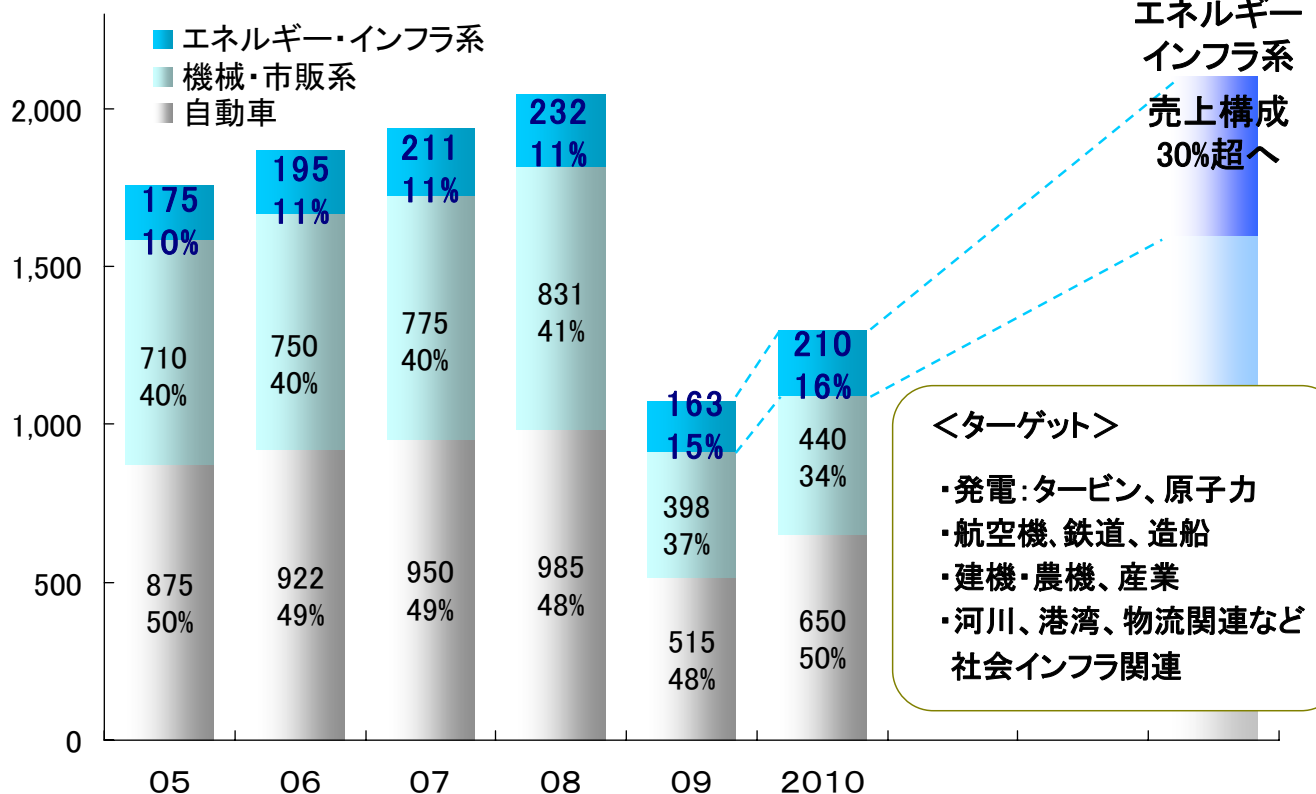


ドバイ営業拠点・ショールーム

② エネルギー・インフラ分野を拡大

売上(億円)

○ 市場別売上高



② エネルギー・インフラ分野を拡大

○ 新商品を市場投入

(1) 物流インフラ向けパレタイジングロボットを投入
新興国を中心に営業展開

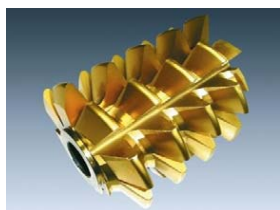


パレタイジングロボット

(2) タービン、風力発電向け精密工具を拡充



X'masツリー型フォームドカッタ



大型ホブ

(3) 省エネ油圧機器「 α デザインユニット」
鉄道、河川、港湾、環境システム向けなど
中部油圧センターを開設し、事業展開



河川ゲート用ユニット

10

エコカー・小型車向け商品の生産増強

(1) ハイブリッド・小型車向け

- ・CVJ用ベアリング
- ・モーター部品用 精密工具
- ・カーコントロールバルブ(比例弁、3方弁)



CVJ用ベアリング

(2) 製造方法の革新に貢献

- ・7軸”腕”ロボット
多様な工程の搬送・加工ラインのロボット化
- ・パワーフィニッシャ
エンジンラインのフレキシブル化



カーコントロールバルブ



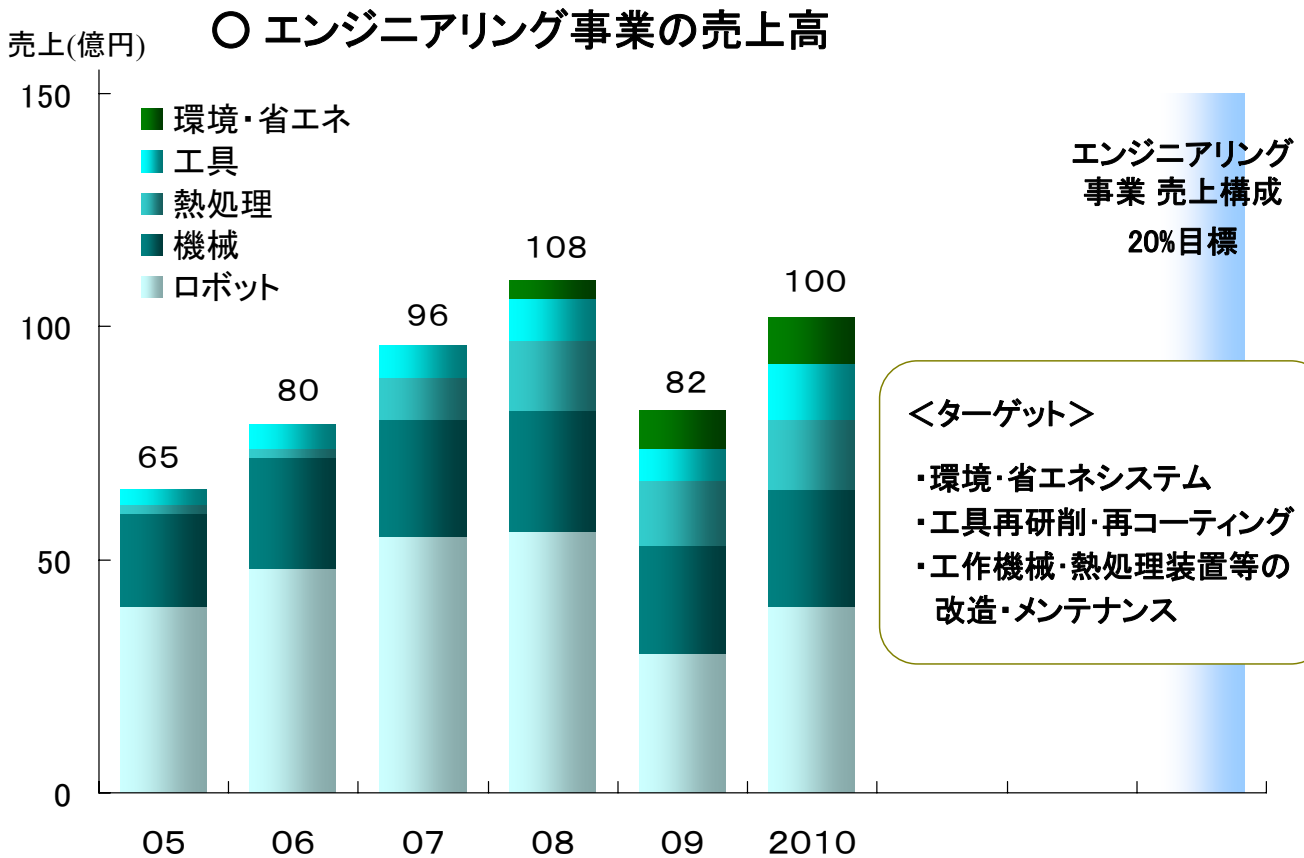
7軸”腕”ロボット



パワーフィニッシャ

11

③ エンジニアリングビジネスを切り口に



12

③ エンジニアリングビジネスを切り口に

○ エンジニアリング専門会社を設立し、ビジネスを推進

(1) 工具の再研削・再コーティングサービス

(株)ナチツールエンジニアリング(NTE)設立

NTEをマザー拠点として、世界に展開



ナチツールエンジニアリング



新興国へ



メキシコ



上海

(2) 機械加工の省エネ・省資源・省力化システム

(株)ナチインダストリアルサービス



切削・研削屑固形化・自動搬送システム



加工液フィルトレーション(リサイクル)システム

13

④ 30%コスト改革

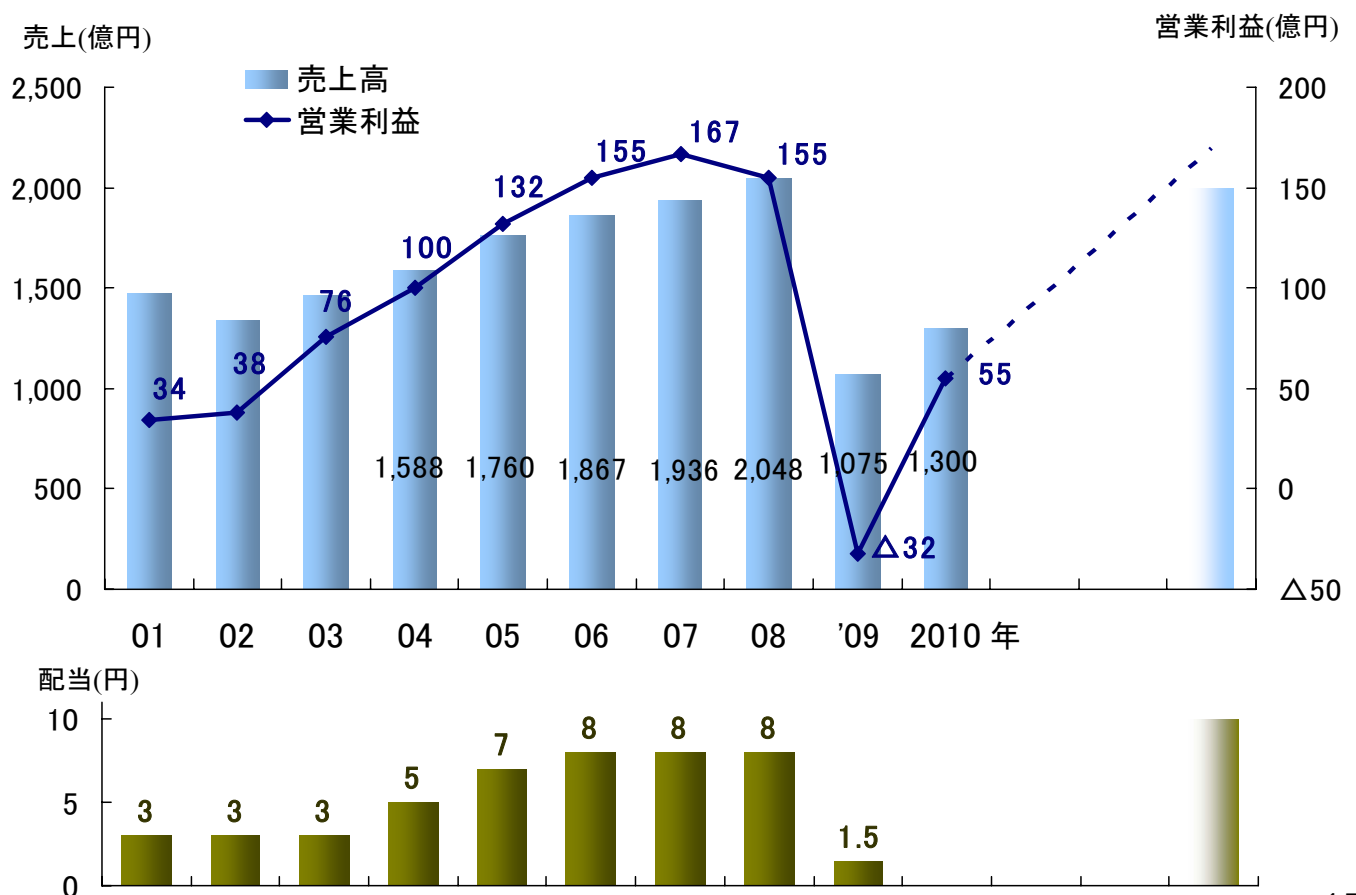
○ 徹底したコスト改革を展開

商品設計、製造方法、生産地(拠点)を抜本的に見直す

- (1) 材料、熱処理・コーティング技術を活かし、工具・部品関連の材料改革(機能に合った安価な材料開発)をすすめる
- (2) 要求機能に応じてスペックを見直す(過剰品質チェック)
 - ・加工精度など品質レベルをチェック
 - ・機種展開の見直し・統廃合、部品点数削減・共通化
- (3) 製造方法を再設計
 - ・工程省略・短縮、加工方法の見直し
 - ・ロボット化、自動化による少人、品質向上
 - ・最適生産地(拠点)を選定
- (4) 海外調達の拡大
 - ・アライアンス先の海外拠点、ネットワークを活用

14

2010年度の業績目標



15

2009年度 決算の概要

16

2009年度 連結決算の概要

09年実績

(単位:億円)

	2008年度 実績(A)	2009年度 実績(B)	増減(率) (B) - (A)
売上高	2,048	1,075	(△47.5%) △972
営業利益	(7.6%) 155	(△3.0%) △32	- △187
経常利益	(6.8%) 139	(△4.7%) △50	- △190
特別利益	9	7	△2
特別損失	9	13	+3
当期純利益	83	△74	- △157

17

財務データ

09年実績

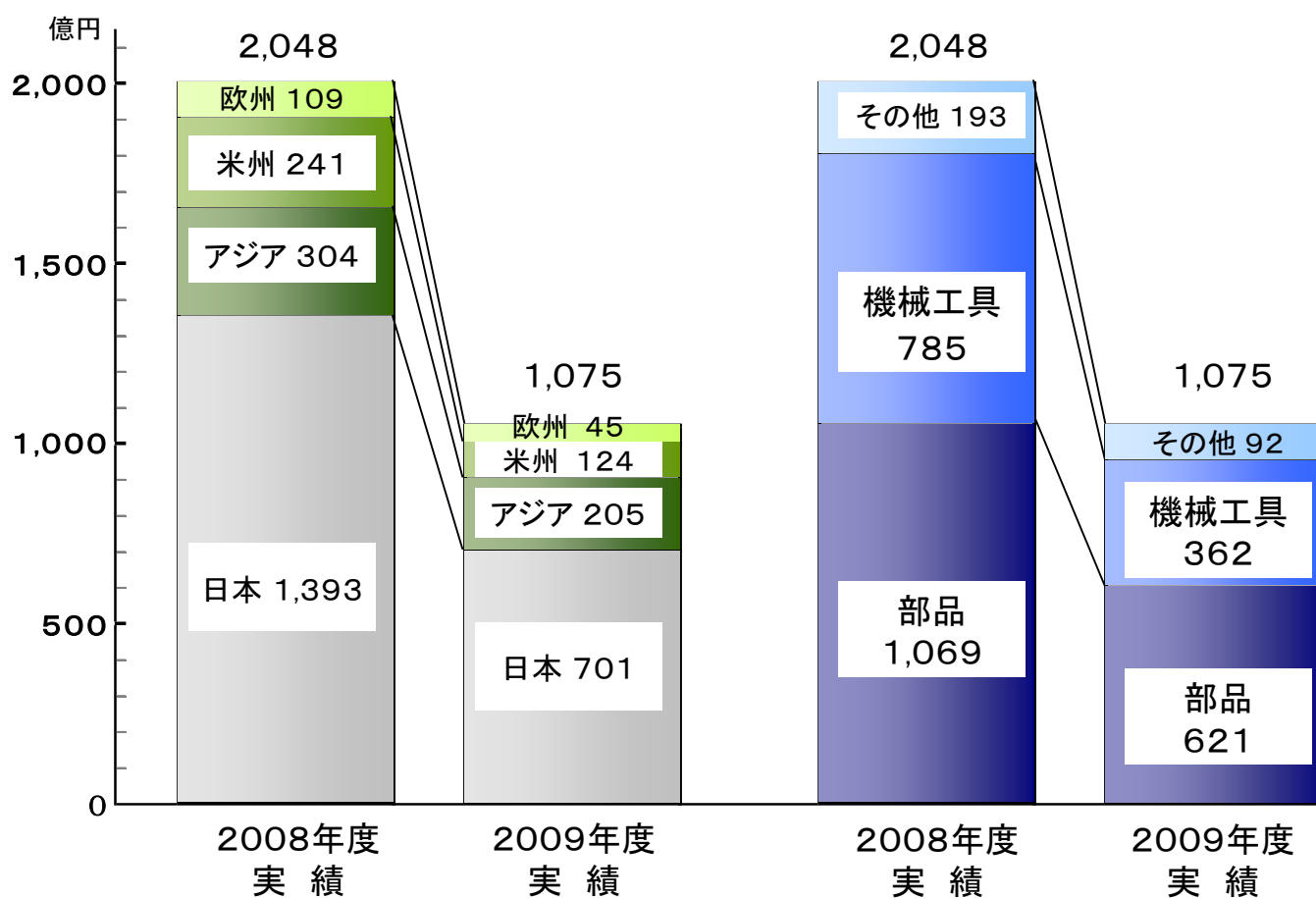
(単位:億円)

	2008年度 実績 (A)	2009年度 実績 (B)	増 減 (B) - (A)
1株あたり配当 (配当性向)	(23.8%) 8円	(-) 1.5円	△6.5円
総資産	1,924	1,762	△161
自己資本 (自己資本比率)	(31.6%) 607	(26.8%) 471	△135
有利子負債 (netD/Eレシオ)	(1.1倍) 681	(1.3倍) 874	+192
設備投資	180	80	△99
減価償却費	102	95	△7
人 員	5,853人	5,351人	△502人
為替レート (USDドル) (ユーロ)	107円 161円	95円 128円	12円の円高 33円の円高

18

売上高の増減要因(地域・事業別)

09年実績



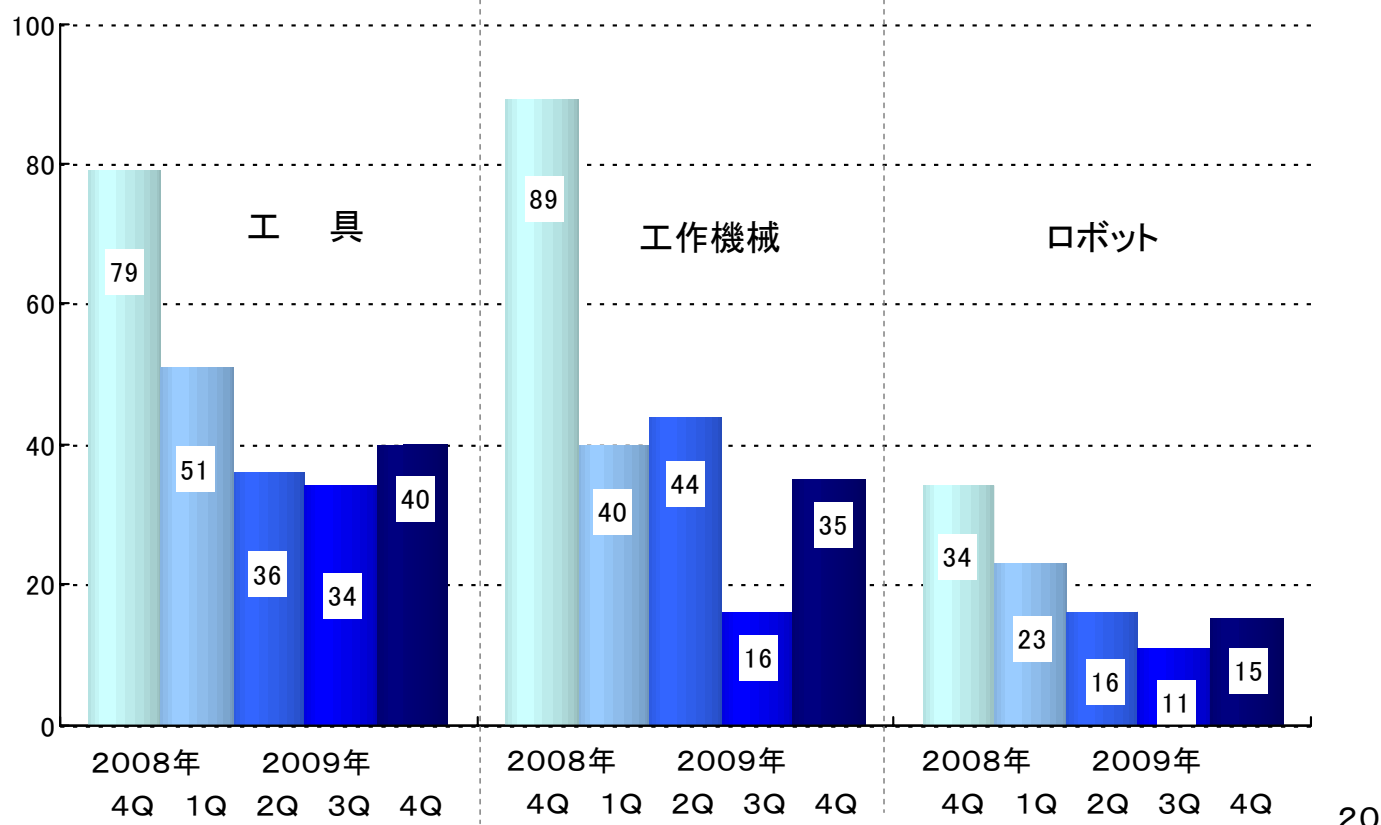
19

事業別の売上高（機械工具）

09年実績

○ 事業別売上高

(単位:億円)

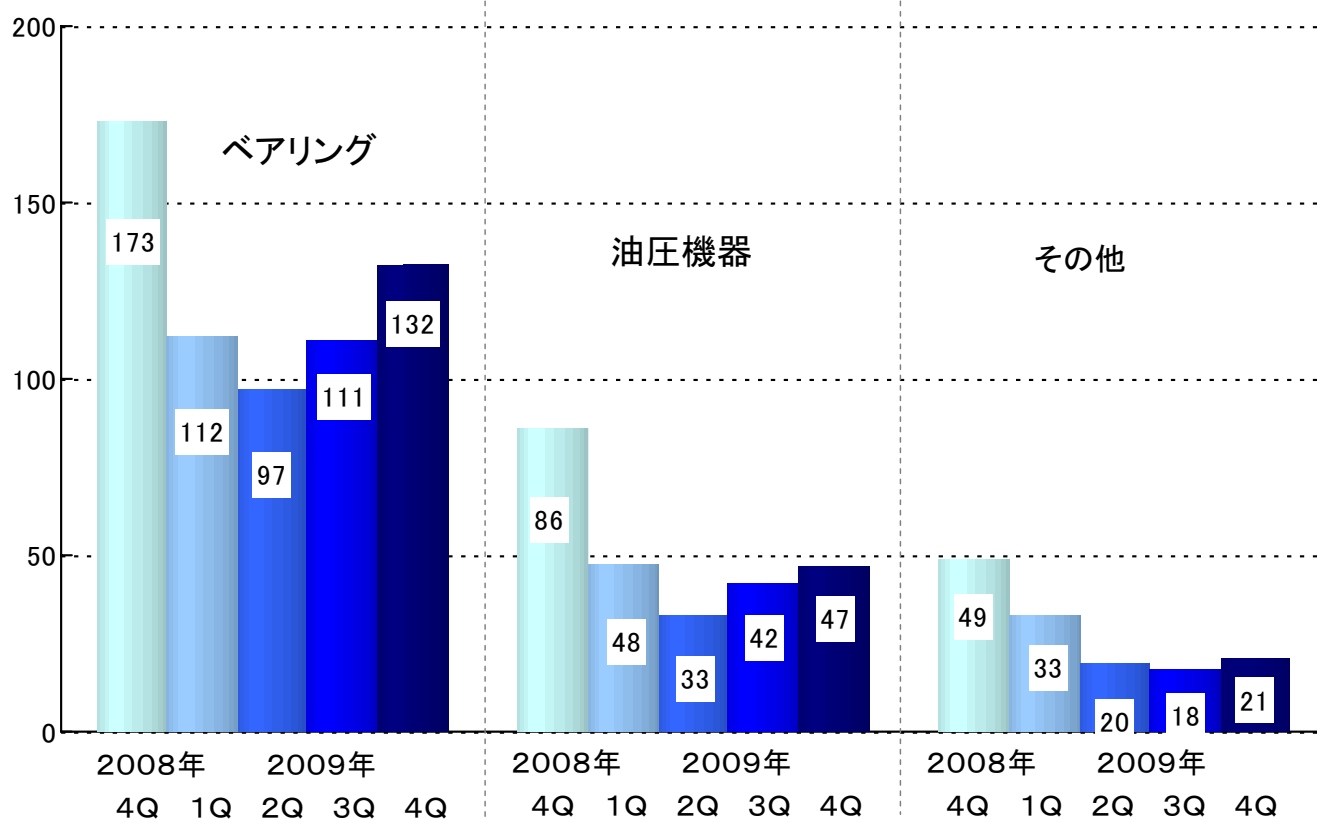


事業別の売上高（部品、その他）

09年実績

○ 事業別売上高

(単位:億円)



事業セグメント別 売上高・営業利益

09年実績

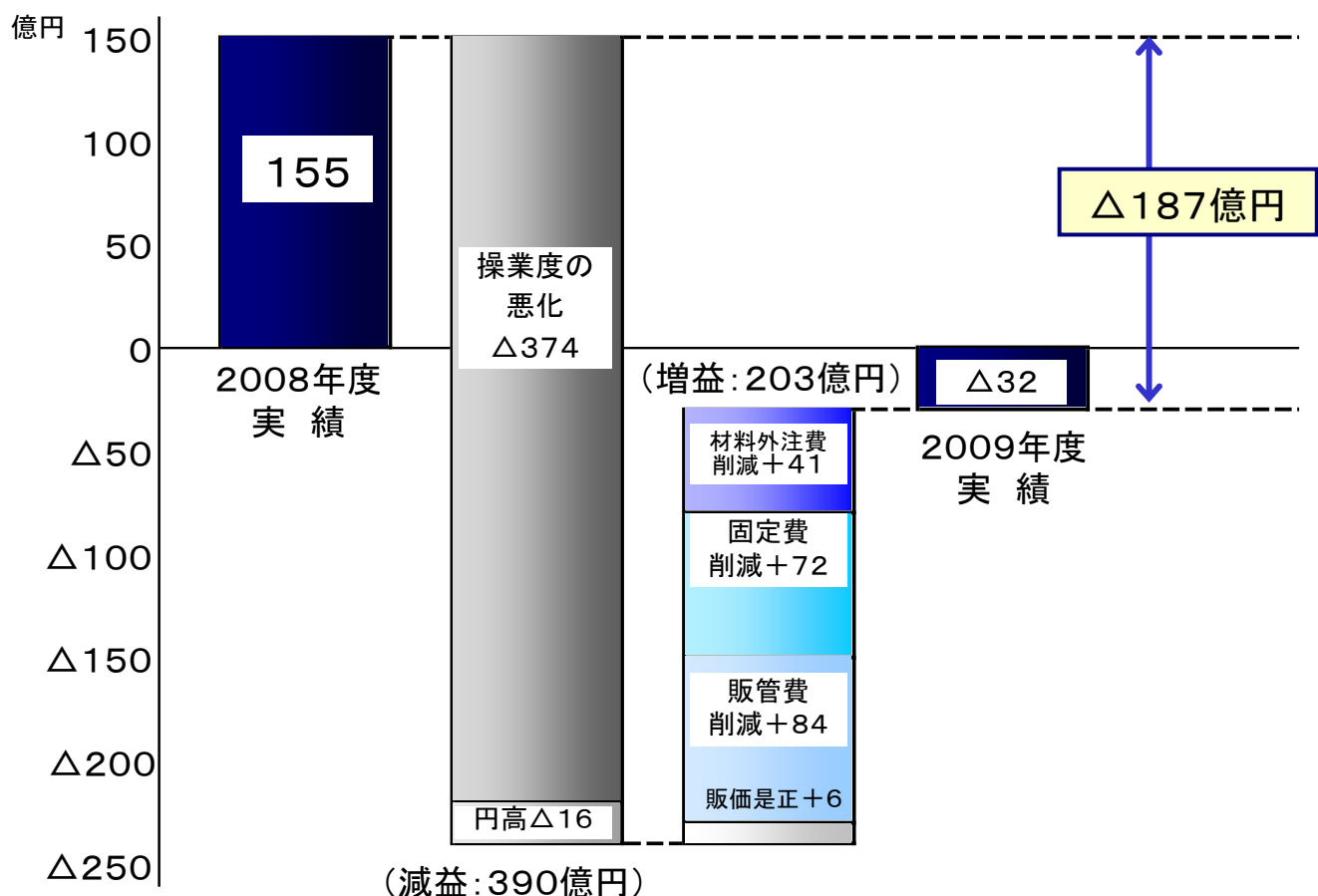
(単位:億円)

	2008年度 実績(A)	2009年度 実績(B)	増 減 (%) (B)-(A)
機 械 工 具 事 業			
売上高	785	362	(△53.8%) △422
営業利益	(5.1%) 40	(△5.0%) △18	— △58
部 品 事 業			
売上高	1,069	621	(△41.9%) △448
営業利益	(9.1%) 97	(△1.6%) △9	— △107
そ の 他 事 業			
売上高	193	92	(△52.4%) △101
営業利益	(8.7%) 16	(△5.5%) △5	— △21
売上高合計	2,048	1,075	(△47.3%) △972
営業利益合計	(7.6%) 155	(△3.0%) △32	— △187

22

営業利益の増減要因

09年実績



23

2010年度 計画の概要

24

2010年度 計画

10年計画

(単位:億円)

	2009年度 実績(A)	2010年度 計画(B)	増 減(率) (B) - (A)
売上高	1,075	1,300	(+20.8%) +224
営業利益	(△3.0%) △32	(4.2%) 55	- +87
経常利益	(△4.7%) △50	(2.7%) 35	- +85
特別利益	7	-	△7
特別損失	13	3	△10
当期純利益	△74	25	- +99

25

財務データ

10年計画

(単位:億円)

	2009年度 実績 (A)	2010年度 計画(B)	増 減 (B) - (A)
1株あたり配当 (配当性向)	(-) 1.5円	未 定	-
総資産	1,762	1,750	△12
自己資本 (自己資本比率)	(26.8%) 471	(28.2%) 493	+21
有利子負債 (netD/Elンオ)	(1.3倍) 874	(1.1倍) 785	△90
設備投資	80	50	△30
減価償却費	95	85	△10
人 員	5,351人	5,350人	-
為替レート (USDドル) (ユーロ)	95円 128円	90円 125円	5円の円高 3円の円高

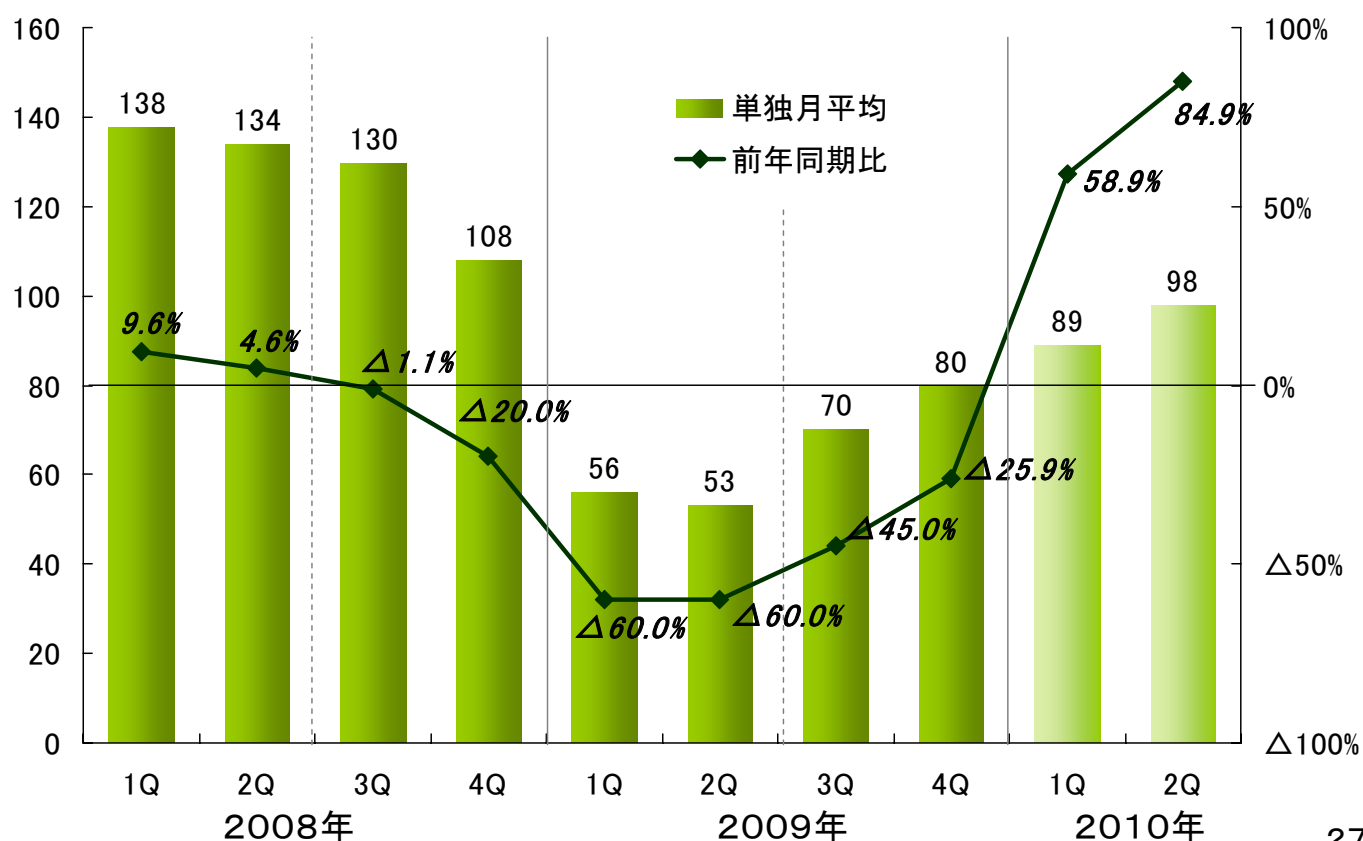
26

単独 受注の動向

10年計画

月平均受注額(億円)

前年同期比



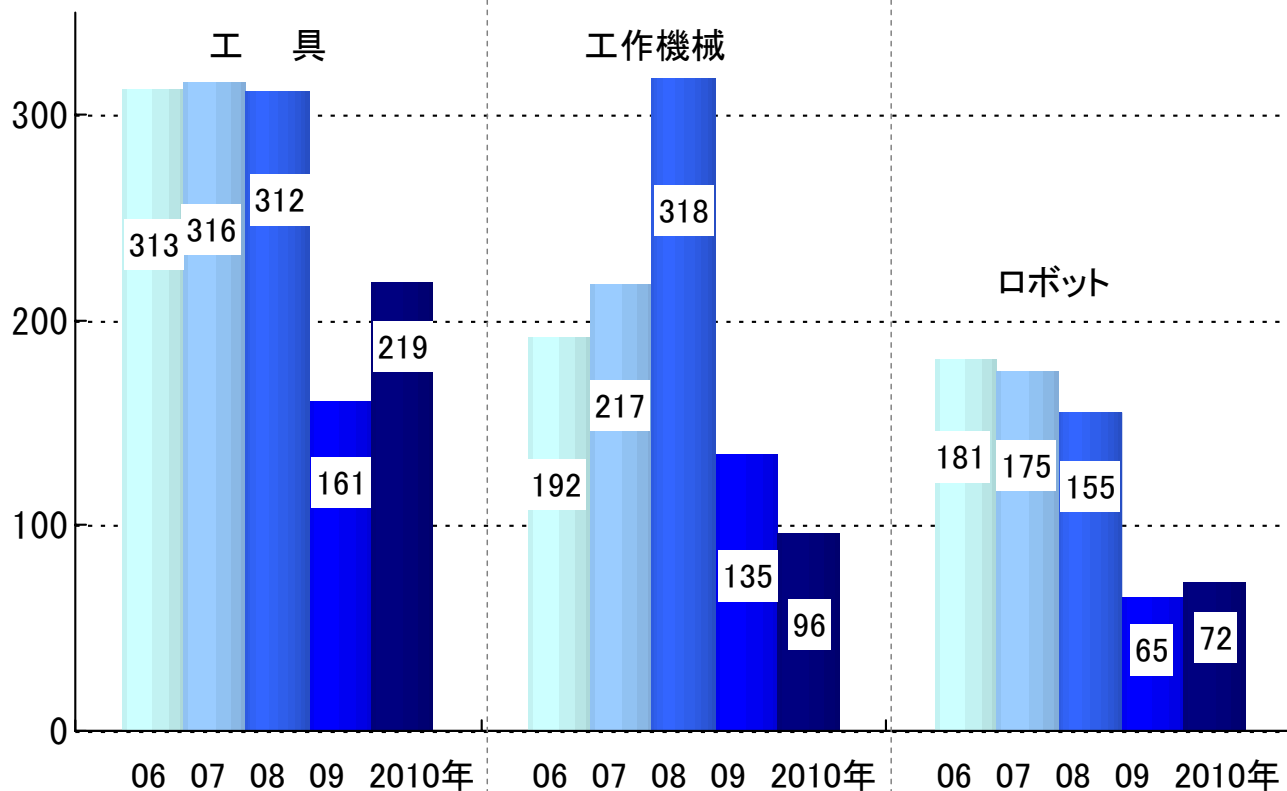
27

事業別の売上高（機械工具）

10年計画

(単位:億円)

(単位:億円)

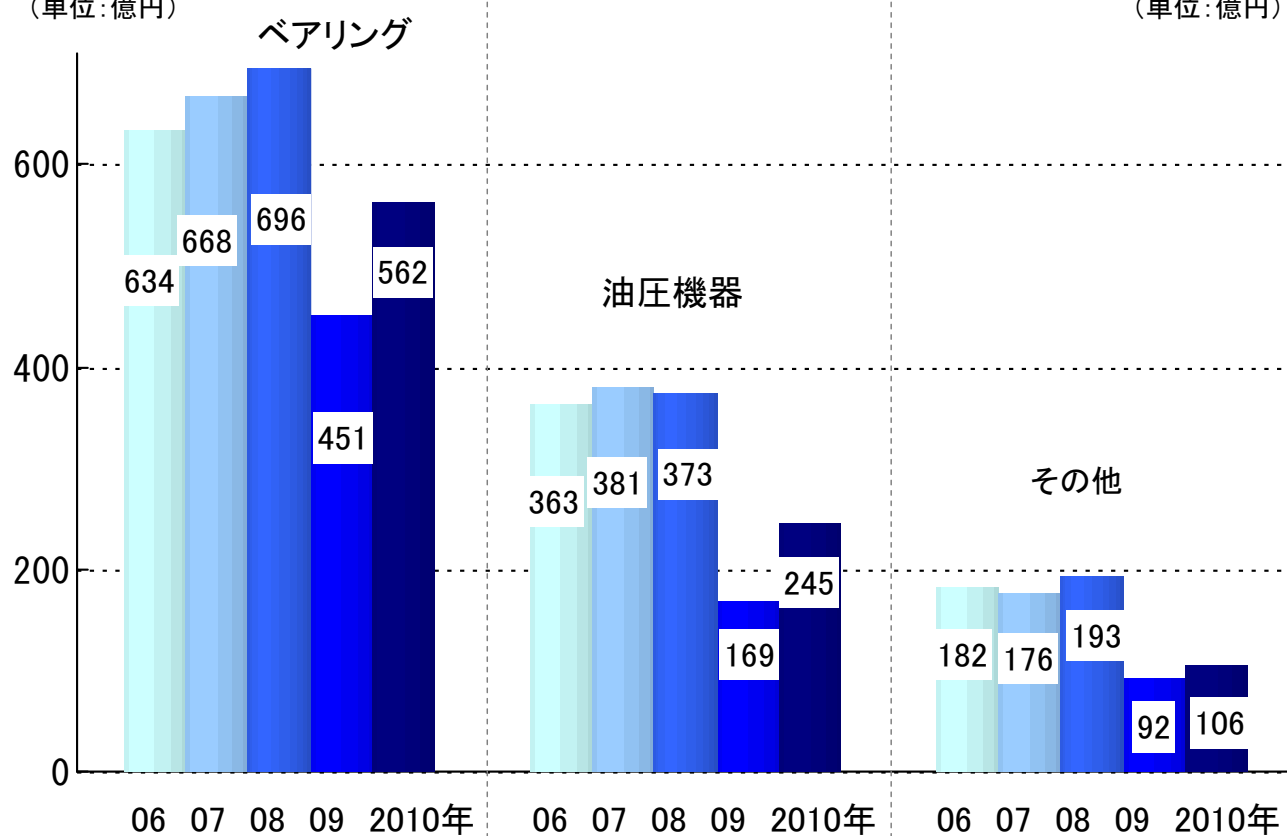


事業別の売上高（部品、その他）

10年計画

(単位:億円)

(単位:億円)



事業セグメント別 売上高・営業利益

10年計画

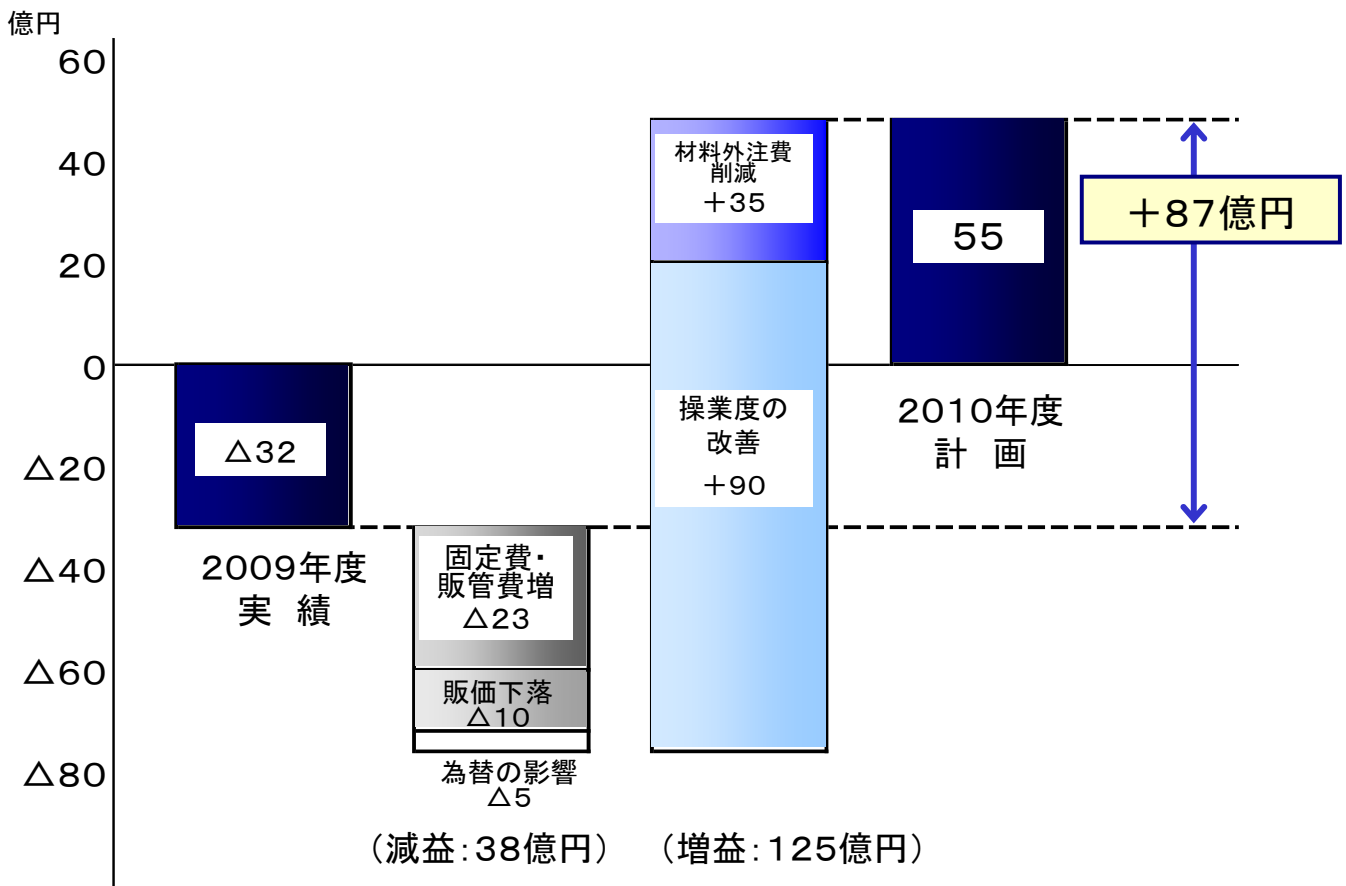
(単位:億円)

	2009年度 実績(A)	2010年度 計画(B)	増 減 (%) (B)-(A)
機 械 工 具 事 業			
売上高	362	387	(+6.8%) +24
営業利益	(Δ5.0%) Δ18	(1.2%) 5	- +23
部 品 事 業			
売上高	621	807	(+29.9%) +185
営業利益	(Δ1.6%) Δ9	(5.6%) 45	- +54
そ の 他 事 業			
売上高	92	106	(+14.9%) +13
営業利益	(Δ5.5%) Δ5	(4.7%) 5	- +10
売上高合計	1,075	1,300	(+20.8%) +224
営業利益合計	(Δ3.0%) Δ32	(4.2%) 55	- +87

30

営業利益の増減要因

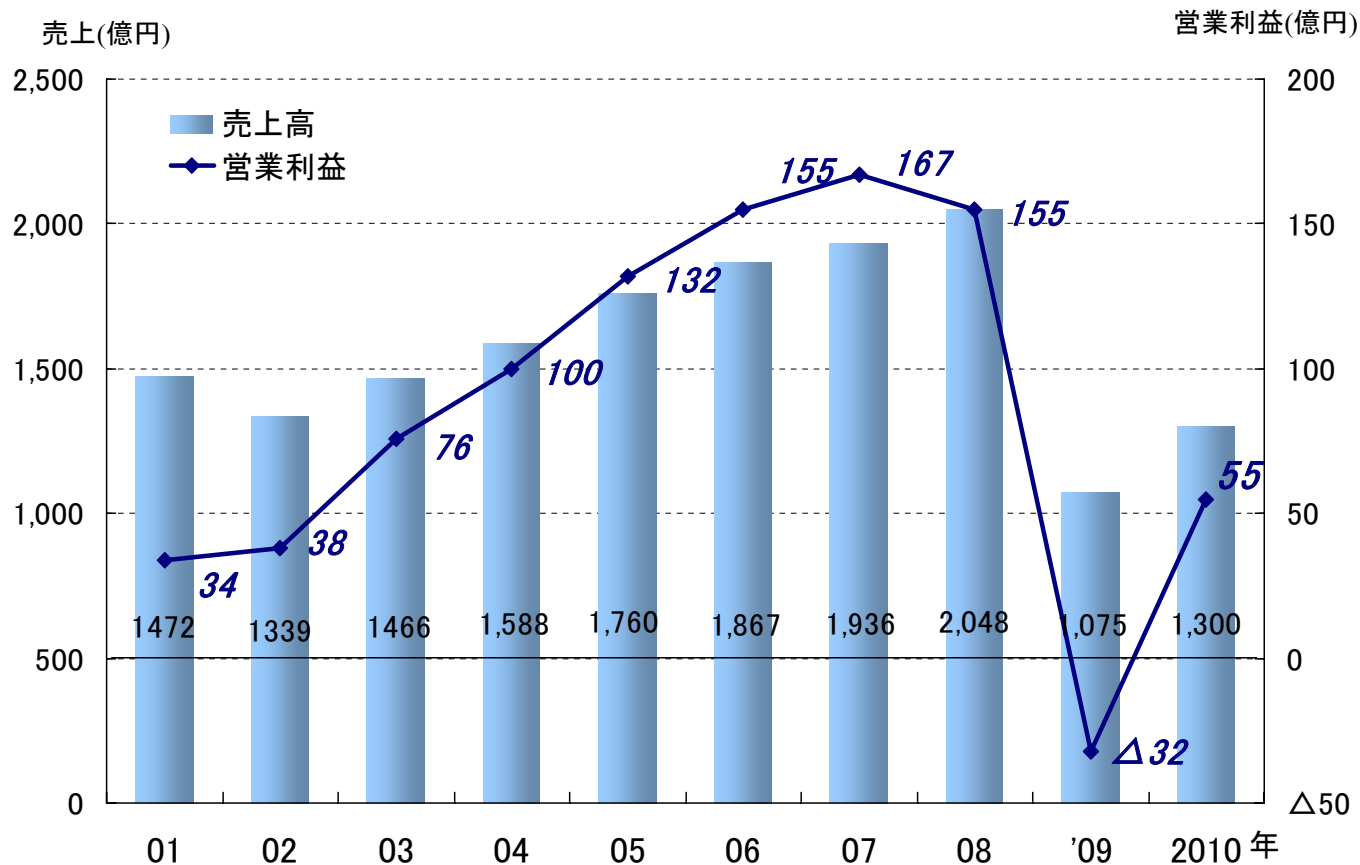
10年計画



31

業績の推移

10年計画



32

NACHI

<http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

本資料には、将来の業績見通し、事業計画等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提にもとづいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。